

党をつくって92年、反戦・平和を貫いてきました

# 戦争をする国にさせない

## 平和の願いをとどけ奮闘!



### 集団的自衛権行使容認に反対する意見書を提案

賛成 **13** 反対 **20**

枚方市は「私たちは、原子爆弾投下による被爆の体験を通して、平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争放棄を誓っています。」と大阪府内で初めて非核平和都市宣言を行ってきた「平和のまち」です。市民団体や市民から集団的自衛権行使容認に反対する多くの陳

情が市議会に寄せられました。党議員団は意見書を提案し、採決を求めましたが、賛成13、反対20で残念ながら否決されました。  
 しかし、関係法案の準備はこれからです。引き続き大きな世論でこの流れにストップをかけるよう頑張ります。

## 192議会「慎重」「反対」の意見書を採択

解釈で憲法を変え、集団的自衛権の行使を容認する暴挙がすすめられるなか、地方議会で次々と反対の意見書が採択されています。(6/30現在)

### 福井地裁判決を受け原発の再稼働反対を

請願・意見書の賛否一覧表	共産党 (3人)	自民党 (4人)	みんなの会 (4人)	みんなの党 (3人)	公明党 (8人)	民主クラブ (8人)	民主市民 (3人)	平和市民 (1人)	結果
集団的自衛権の行使を容認する解釈改憲を行わないよう求める意見書	○	×	×	×	×	○6 ×1	○	○	否決
福井地裁判決を重く受け止め、大飯原発の再稼働中止を求める意見書	○	×	×	×	×	×5 退2	○1 ×1 退1	○	否決
子どもの権利保障を最優先した「子ども・子育て新制度」の具体化を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	○	不採択

※○は賛成、×は反対、退は棄権退場。民主クラブの1名は議長のため採決には加わらず。

### 軽自動車やバイクなど庶民の足に増税 反対

6月議会には軽自動車等への増税議案が提出され、共産党は「庶民増税だ」と反対しました。



原付バイク  
1000円 → 2000円



軽自動車(来年4月以降に購入)  
7200円 → 10800円

### 消費税増税

# ストップ! 暮らし応援の市政へ

消費税増税など暮らしの負担は増すばかり…。国の制度改悪が示されるもと枚方市が安心できる介護や暮らし応援の制度を充実するよう求め奮闘中です。

## 社会保障の解体は許さない 力をあわせて跳ね返そう

消費税は増税されても「社会保障の充実」にまわるのは約1割。学童保育は来年度から6年生まで実施のはずが先送りに。介護保険も改悪され、何のための増税なのか怒りが広がっています。子育て支援の新制度も介護保険も現在、自治体での具体化がすすめられています。改悪をはね返し、より良い制度となるよう頑張ります。

国民健康保険料には子育て世帯や失業などで所得が落ち込んだ場合に対応できる減免制度があります。交野市等では生活保護の1.5倍未満など生活困窮者向けの減免があります。枚方市では恒常的な低所得者への減免が廃止されてしまいました。

こうした制度や窓口での医療費負担を軽減する制度、介護保険料や固定資産税など減免制度の充実を求めています。

### 「医療介護総合法」成立 「介護難民」激増、家族にさらなる負担増

#### 1 介護保険利用料に2割負担を導入!

280万円以上の収入(所得160万円)で2割負担に

#### 2 要支援者は介護保険から外される!

ヘルパーさんによる訪問サービスやデイサービスは利用できず、ボランティアまかせに

- 枚方の要支援者は6193人
- 要介護認定者の約33%です

(2014年3月末)

#### 3 「要介護3」以上でないと特養に入れない!

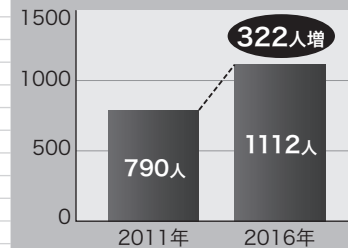
要介護1・2の方は特別養護老人ホームの対象外となり申し込みもできません

#### 4 入院患者の追い出し!

食費負担の引き上げや病床数の削減、診療報酬の改悪と一体に患者の追い出しを強める

サービスつき高齢者住宅や有料老人ホームは高くても低所得では入れません。これでは「介護難民」を生み出します

#### 増える!特養待機者



#### 介護保険や固定資産税にも減免制度があります。

条件がありますがお困りの際は、お気軽にご相談下さい。



### みなさんの声をお聞かせください

日本共産党枚方市議員団  
<http://www.jcp-hirakata.com>  
 Eメール hirakata-jcp@salsa.ocn.ne.jp



# 市民の声、聞かない市政はダメ



## 美術館整備

### あいつぐ疑問 白紙にもどし再検討を!

住民の憩いの場である香里ヶ丘中央公園の樹木を伐採し美術館を建設しないでほしい、市が住民の意見も聞かず立地を決めた事は納得できないなど、市が寄附を受け運営する美術館に反対の声が広がっています。

9月議会に美術館設置条例が提案される予定ですが、共産党は市民合意のないままの着工は許されない、市民の声を聞き寄附受と整備計画の白紙撤回、再検討をと引き続き求めていきます。

### 市が受け入れた「負担つき寄附」とは…

今回の寄附は、建物と展示品のみで、市が公園を提供し、年間運営費を約6500万円から**7500万円負担**する予定。しかも、30年間は美術館を続けるとの約束

付きで、違反した場合、寄附者から請求があれば美術館の建設に要した費用を市が負担しなければならないもので、党議員団は反対しました。



この緑が削られるなんて!



## 図書館等への指定管理者制度導入

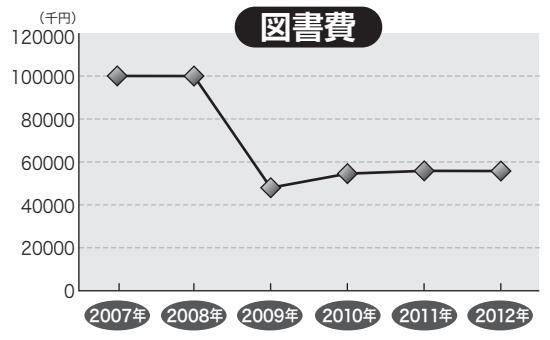
### 図書館は直営で市民のプライバシーと知る権利の保障を

市は図書館の運営を民間に任せる指定管理者制度導入をすすめるようとしています。竹内市長は図書館や生涯学習市民センターに指定管理者制度を導入すること等により経

費を削減し、美術館の運営費にまわすと説明しています。「美術館の運営費確保が最優先」、「導入ありき」のやり方は大問題です。

### 図書費の増額、司書の確保こそ必要です

竹内市政になって図書費が半減する一方、予約件数は倍に。読みたい本がなかなか読めない図書館になっています。また、各分館の司書が減られ市民の要求にこたえられない状況で図書館の充実が必要です。



### 市民との約束を守れ!

市長は指定管理者制度の導入を生涯学習市民センターと図書館の複合施設からすすめる述べています。公民館廃止の際、「市民協働」を推進するため直営を堅持し単なる貸館とはしないと約束した生涯学習市民センター。市と市民の約束を一方向的に破るのでなく、住民の学習権を公的に保障すべきです。